## わぁすごい!卵がいっぱいでてきたよ ~ 自然の不思議さに驚き感動を味わう~ 北区立うめのき幼稚園(東京都北区) 【5歳児】

## (1)保育者の感動体験 (2月中旬)

小学校からの情報

夜になるとたくさんのカエルが産卵 にひょうたん池に来ていますよ。...





ひょうたん池へ見に行く

池を目指してこんなに たくさんのカエルが校 庭を横断するの!?

オスが鳴いてメスを奪うの? すごいカエル合戦!



子どもたちにも体験

## (2) 幼児とカエルとの出会い <オタマジャクシの成長を見つめて>

自然体験の積み重ね

子どもの姿・言葉

## 保育者のかかわり・援助

A:身近な校庭で、カエルが産卵している

・幼児の言葉にうなずきながら、幼児たち

が状況や特徴をよく捉えていることに共

A:保育者の感動体験からきっかけ作り

様子を幼児にも見せたい!

【平成 19 年 2 月 26 日】 ひょうたん池探検へ

レッツゴー!

学級のみんなでアズ マヒキガエルの産卵 場面に出会う。



うわー。卵、長ーい!!

- このカエルおしり動かしてる。
- ・卵がどんどん出てる。
- ・卵、長い。
- <mark>・すごいね。</mark><感動・発見>

オスが小さくてメスの 方が大きいの!



振り返りなんだって。

感したり見守ったりする。

・" オスはメスを離さないように指のところ に「いぼ」のようなものがある"という ことを、幼児にも伝えれば、さらによく 見ようとし、興味や関心をもっと広げ深 めることができたのではないか。

【3月中旬】

幼稚園のベビー池に も産卵していること に気付く。

カエルの卵を身近 に見る。

卵の中の微妙な動 きや形の変化に気 付く。

【数日後の降園時】

卵の形の変化に気付 <。

- あっ、いまピクって動いた!
- ・黒くて小さい卵、まん丸の卵 がいっぱいあるね。
- ・( 今まで丸だったけど ) 丸じ ゃない。変な形になっている。
- <気付き・発見>
- ・白くなっているのは死んじゃ <mark>ってるんだよ。</mark><知識>

A:カエルの卵を水槽に分けて、身近に見 られるようにする。

> いつオタマジャクシに なるんだろうね。

本当だね~ 不思議だね。( 幼 児同士の会話を見守る)

もうすぐオタマジャクシに なりそう? <予想>

卵の形が少し変わってきたね。

### 【数日後】

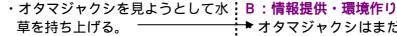
・本の写真と照らし合わせて、・・・情報提供・環境作り 「今これと同じ」と比べる。 <気付き>

- ・翌朝、オタマジャクシの写真入りの本を1冊出しておく。 卵の成長の様子を本で見て確認することで成長への期待を
- ・生き物の特性や自分との違いに気付かせるような言葉を、 保育者が投げかけることで、より考えたり、調べたりする ことにつながる。

#### 【春休み】

卵からかえり、水草に くっついている様子 を見る。

・園に遊びに来た幼児数 名が、卵からかえって いることに気付く。



・保育者の言葉を聞いて、 覗き込むようにして見る。

> オタマジャク シ、水草につか まっているの?

> > オタマジャクシ になれば泳げる の? <予想>

▶ オタマジャクシはまだ泳げないから水草 につかまっていることや、<u>水草を持ち上</u> <u>げないことを伝える。生き物との接し方</u> を分かりやすく伝え、指導することが興 味や関心を広げるきっかけになる。

> 私(先生)も知らなかった!「泳 げないから水草につかまってい る」と本に書いてあるよ。楽しみ だね!

\_: 指導のポイント

A、B:実践事例集 vol.5 P4 の構想図に対応

# 《考察》

保育者が感動したことは、幼児も感動する。ひょうたん池で毎年繰り返されていたこの知られざる感動を、 保育者が体験したことで幼児も感動体験をすることができた。今後は,指導計画に位置付けていく。 幼児の様々な驚きや気付き、じっくりと見ている姿を、保育者もじっくりと見守るゆとりが大切である。 本や図鑑など、いつでも幼児が調べ確認できるような教材準備が必要である。

生き物がよりよく生きるために必要なことを、保育者が先に教えるのではなく、幼児自ら気が付いたり考 えたりできるような保育者の言葉がけを大切にしたい。

## みどころ

春の様々な生命の誕生や芽生えが、感動的な体験に結び付くように、計画的に環境を整えることはもちろ ん大切なことです。そしてこの事例のように、改めて保育者自身が自然や生命誕生の素晴らしさに大きく心 を動かすことで、例年見られる出来事であっても、より新鮮な貴重な環境になります。

カエルが卵を産むことを知っているだけでなく、その様子を目の当たりにして感動することで、カエルや 卵の様子を細かく観察し、その後も興味深くかかわることにつながりました。